

修学旅行を振り返ろう

修学旅行の目標をかなえるために、どんなことをがんばりましたか。

.....

.....

.....



修学旅行を通して発見した友だちのよいところを書きましょう。

.....

修学旅行を通して自分の成長したことを書きましょう。

.....

修学旅行の思い出ベスト3を書きましょう。

1位
2位
3位



修学旅行を終えて、学んだこと、これからの生活に生かしていきたいことは何ですか。

.....

.....

先生から	保護者の方から	○
.....	○
.....	○
.....	○
		○
		○

生活について

4月に記入した1年の目標を読みながら考えましょう。
目標に向け、どのようなことをがんばりましたか。

.....

まだ不十分なことは何ですか。

.....

次の学期にがんばりたいことは何ですか。

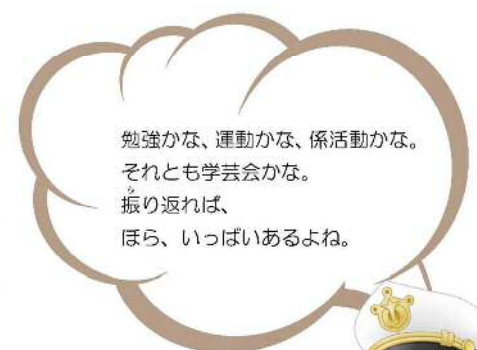
.....

今学期で一番がんばったことは何ですか。

.....

次の学期のあなたに、応援メッセージをおくりましょう。

.....



先生から

保護者の方から

.....

.....



生活について

4月に記入した1年の目標を読みながら考えましょう。

目標に向け、どのようなことをがんばりましたか。

.....

まだ不十分なことは何ですか。

.....

次の学年でがんばりたいことは何ですか。

.....

好きになった遊びは [] 新たに興味・関心をもつようになったことは []

1年間の思い出ベスト3とその理由

1位

2位

3位

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで、主に「課題対応能力」を高めます。
- 児童の実態に応じて、漢字に「ふりがな」をつけるか、「ひらがな」に置き換えます。また、かみくだいた表現にします。
- 1年間で記入し累積したノートを用意します。
- ノートを見て、1年間を振り返りながら記入し、次学期の目標を立てます。
- 児童の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積します。

1年間であなたが「成長した」と感じる事、「できるようになったこと」は何ですか。

.....

友だちや先生への感謝のことは書きましょう。

.....

将来の夢は何ですか。

.....

次の学年のあなたに、応援メッセージをおくりましょう。

.....

何をがんばるか、どんな自分になりたいか。決めた目標に向かって走っているさみ自身を応援しよう。



先生から

..... ○

保護者の方から

..... ○

ゆめ み ころがい
夢を見つける航海ノート

No.10-01

自分の成長を知ろう。
自分のよさを
伝えよう。

「わたしの履歴書」



一目で分かる、きみの6年間をまとめてみよう。
がんばってきたこと、好きだったことは、みんな今のきみのもとになっているはずだ。
そして、今きみががんばっていること、好きなことは、未来のきみをつくる大切な素材になるはずだ。
これまで記入してきたノートを見て、自分自身の成長を振り返ってみよう。

和暦(西暦)	学年	項目	内容・理由
年	小学校1年生	係活動	係名 活動内容
		好きな教科	科目 理由
		得意な教科	科目 理由
		好きな遊び	遊び名 理由
		将来の夢	
年	小学校2年生	係活動	係名 活動内容
		好きな教科	科目 理由
		得意な教科	科目 理由
		好きな遊び	遊び名 理由
		将来の夢	
年	小学校3年生	係活動	係名 活動内容
		好きな教科	科目 理由
		得意な教科	科目 理由
		好きな遊び	遊び名 理由
		将来の夢	
年	小学校4年生	係活動	係名 活動内容
		委員会活動	委員会名 活動内容
		好きな教科	科目 理由
		得意な教科	科目 理由
		好きな遊び	遊び名 理由
		クラブ活動	クラブ名 活動内容
		将来の夢	

和暦(西暦)	学 年	項 目	内 容・理 由
年	小学校5年生	係活動	係名 活動内容
		委員会活動	委員会名 活動内容
		好きな教科	科目 理由
		得意な教科	科目 理由
		興味・関心のあること	内容
		趣味・特技	内容
		クラブ活動	クラブ名 活動内容
		表彰・資格	
		将来の夢	
年	小学校6年生	係活動	係名 活動内容
		委員会活動	委員会名 活動内容
		好きな教科	科目 理由
		得意な教科	科目 理由
		興味・関心のあること	内容
		趣味・特技	内容
		クラブ活動	クラブ名 活動内容
		表彰・資格	
		将来の夢	

自己PR 私のよいところ

【指導上の留意点】

- 主に「自己理解・自己管理能力」を高めます。
- 6年間累積したノートを用意します。
- 自分の成長を振り返りながら、各項目の記入をします。
- 記入後、自分のよさを中心に自己PRの文章を考えます。
卒業前の授業で発表することもひとつの方法です。
- 自己PRは、中学校入学時の自己紹介にも役立ちます。
- 小学校で記入したすべてのノートを綴ったファイルを
中学校へ持ち上げることができるよう配慮します。

自己紹介をするときは、
よいところを
たくさん言えるように
なるといいね。



過去の自分を振り返り、
未来のなりたい自分を見つめよう。



小学校6年間の思い出



小学校の6年間できみは大きく成長したね。身長が伸びただけではなく、
いろいろな人とかかわって心が豊かになったことだろう。
たくさんの漢字を覚え、多くのことを勉強した。そして、大切な友だちもきっと増えたね。
中学生になる前に、これまで記入したノートを見て、この6年を振り返ってみよう。

わたしの能力診断

右のらんのあてはまるところに○を付けましょう。

ア あてはまる イ ややあてはまる。 ウ あまりあてはまらない エ あてはまらない

ア イ ウ エ

1	自分とはちがう友だちの性格について分かろうとしている。				
2	周りの人のことを考えて、自分の思いや考えを話している。				
3	礼儀正しく周りの人とつきあっている。				
4	自分自身のよいところについて知っている。				
5	自分で考えて行動している。				
6	困った時、あきらめずに解決に向け取り組むようにしている。				
7	困ったことの解決のために周りの人にたずね参考になっている。				
8	困ったことの解決に向けて、計画(作戦)を立てている。				
9	困ったことの解決に向けた計画(作戦)や行動がうまくいかない時に見直している。				
10	働くことの意味についてよく考える。				
11	自分の将来の夢についてよく考える。				
12	自分の将来の夢の実現のために何をしたらよいか考えている。				

小学校の思い出ベスト3とその理由を書きましょう。

1位

2位

3位

小学校の6年間で、あなたはどのように成長

あなたの将来の夢は何ですか。

【指導上の留意点】

- 「基礎的・汎用的能力」を自己評価します。
- 6年間累積したノートを用意します。
- 自分の成長を振り返りながら、各項目の記入をします。
- 「6年間の私の性格・能力診断」は4つの基礎的・汎用的能力の診断となります。
 - 人間関係形成・社会形成能力 …1,2,3
 - 自己理解・自己管理能力 …4,5,6
 - 課題対応能力 …7,8,9
 - キャリアプランニング能力 …10,11,12
- 児童の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。
その後、ファイルに綴じて累積します。
- 小学校で記入したすべてのノートを綴ったファイルを
中学校へ持ち上げることができるよう配慮します。

友だちや先生への感謝の言葉を書きましょう。



面と向かっては
言えないけど、
あなたは
大切な存在よ。



照れるけど、
勇気を出して
書いてみよう。

保護者の方への感謝の言葉を書きましょう。

先生から

保護者の方から





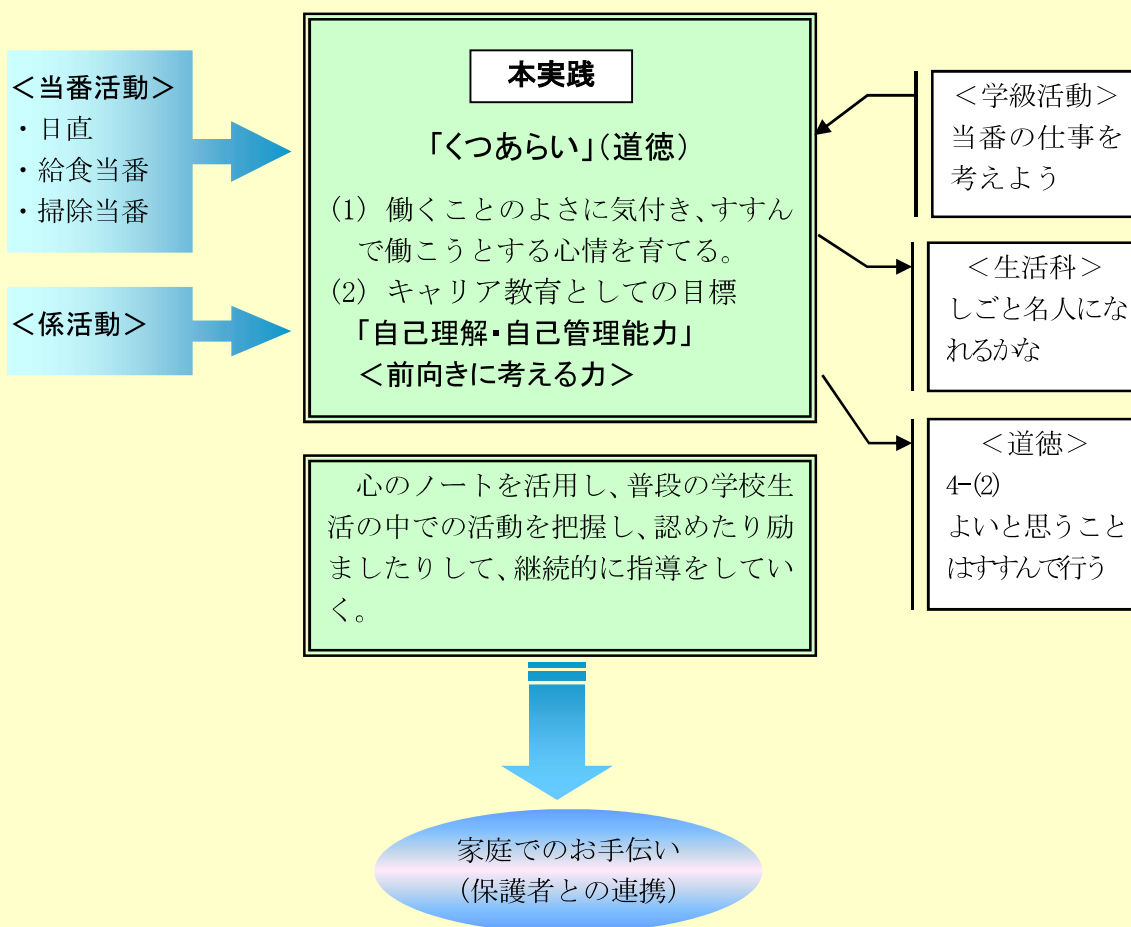
全体構想

No.12

題材名

「くつあらい」

1 学年、教科・領域	小学校第1学年 道徳
2 ねらい	・働くことよさに気づき、すすんで働こうとする心情を育てる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、家庭や学級において様々な役割を任されたり、行ったりすることで、集団の一員としての意識をもち、かかわりを深めていく。そして、仕事を終えたときに親や教師の励ましや賞賛を受けることで、仕事を成し遂げた成就感や人の役に立てたことへの満足感を味わうことができる。 ・本実践では、公園で遊んでいる子どもたちの声を聞かせながら動作化させることで、主人公の思いを実感させる。そして、自分で決めたことは最後までやろうと前向きに考え、行動することの大切さを味わわせたい。



くつあらい

1 学年、教科・領域 小学校第1学年 道徳【4-(2)】

2 本時の目標

(1) 働くことの喜びを知り、すすんで働こうとする気持ちを育てる。

(2) **「自己理解・自己管理能力」<前向きに考える力>**

3 準備

- 資料「くつあらい」(出典：あかるいこころ)、上靴、バケツ、たわし、場面の絵、センテンスカード、プリント

4 展開 キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 自分が今までにしたことのある仕事について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうじ ・給食当番 ・日直 ・係の仕事 ・はし並べ ・おふろ洗い 	<p>○座席をコの字型にし、話しやすい雰囲気作りをする。</p>
<p>2 資料を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 資料を読んで、覚えているところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すすむが靴洗いを頑張ったところ ・公園から友達の声が聞こえたところ ・最後まで頑張ったところ <p>(2) 公園の方から、楽しそうな友だちの声が聞こえてきたとき、すすむさんは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まさおさんたちと早く遊びたいな。 ・今日はさぼっちゃおうかな。 ・靴洗いは後回しにしようかな。 <p>(3) 「よし、さきにやっちゃおう。」と言ったとき、すすむさんはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やらないとお母さんにしかられる。 ・ぼくの仕事だから頑張ろう。 ・きれいにしたらほめられるかな。 	<p>○教師が範読し、読んだあとは、資料を閉じさせる。</p> <p>○覚えているところを発表させながら、本資料のあらすじを確認する。</p> <p>○本資料の場面の絵を貼ることで、視覚的に分かりやすくする。</p> <p>○公園から聞こえる楽しそうな声に揺れる心情を十分にとらえさせるため、子どもたちの遊ぶ声の効果音を聞きながら動作化させ、すすむの思いを発言させる。</p> <p>○すすむが、友達との遊びよりも靴洗いを優先した理由を考えさせる。</p>
<p>3 今までの自分の仕事についての経験をプリントに書き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食当番は面倒くさいなと思ったけれど、頑張った先生にほめられてうれしかった。 ・おふろ掃除は大変だったけど、お母さんに「ありがとう」と言われてうれしかった。 	<p>◎子どもたちが気付いていない、いろいろな場面を思い起こさせるよう助言し、その意見を十分に認め、すすんで働こうとする意欲を高めるよう賞賛する。</p> <p>☆頑張った仕事をするのが人の役に立つことを知り、すすんで働こうとする気持ちが高まったか、プリントから判断する。</p>
<p>4 教師の話聞く。</p>	<p>○子どもたちの経験で「働くって気持ちいいな」と思った話でまとめる。</p>

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.12

くつあらい

すすんではたらこう。



ともだちとあそぶことより、
くつあらいをさきに
やっしまおうとおもったのは
どうしてだろう。
みんなといっしょに
かんがえてみよう。

いままでどんなおてつだいをしましたか。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

ぼくは、まいあさ
みんなのパンを
やくかかりなんだ。



そのとき、どんなきもちがしましたか。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

わたしは、ちょうしょくの
しょっさあらいの
おてつだいをするよ。
みんなが「ありがとう。」って
いってくれるから、
「あしたもがんばろう。」って
おもうよ。あなたはどうか。



せんせいから

.....
.....
.....

おうちのひとから

(お子さんがお手伝いした時のお気持ちを書いて下さい。)

.....
.....
.....



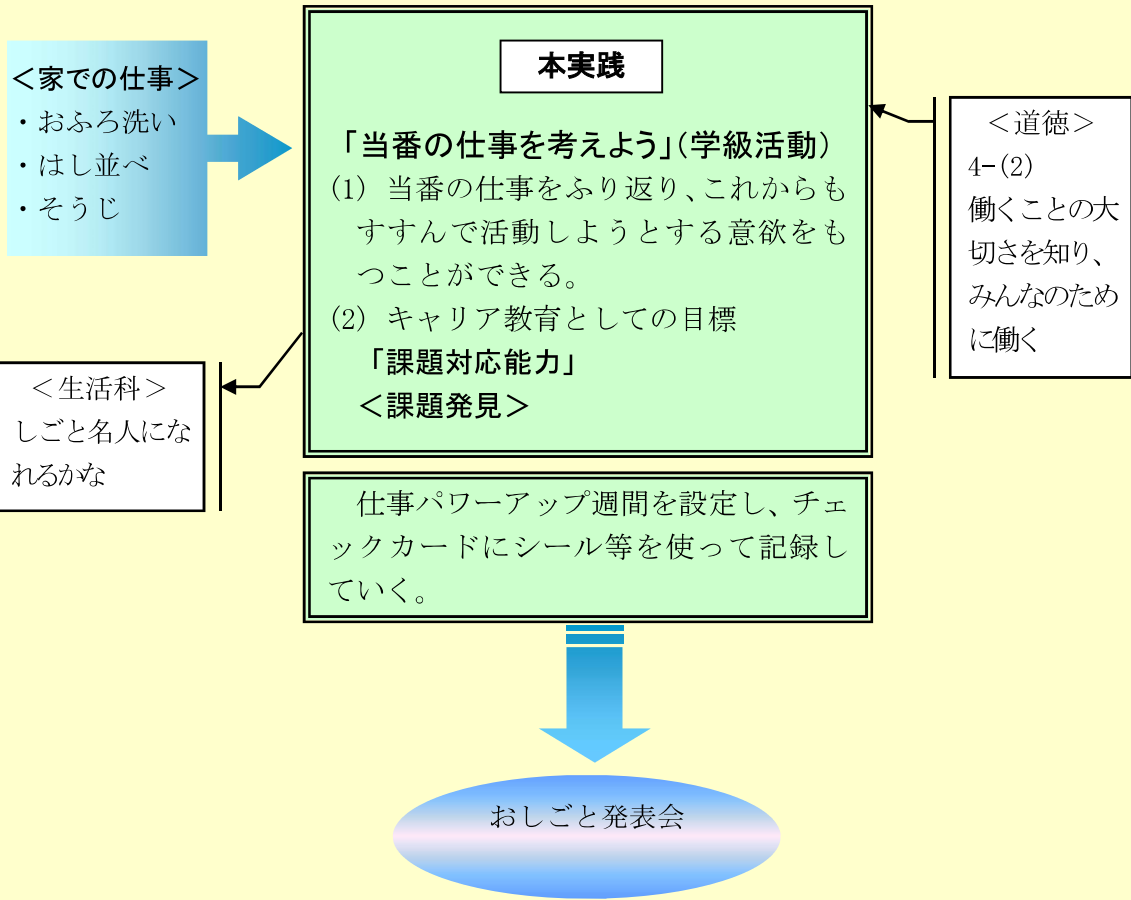


全体構想

No.13

題材名 「当番の仕事を考えよう」

1 学年、教科・領域	小学校第1学年 学級活動
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動や当番活動を通して、自分の役割に気付き、すすんで果たそうとする。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活における当番活動や係活動は、キャリア教育と深い関係がある。低学年からみんなのために働いたり、責任を果たしたりする経験を積み重ね、その意義を理解させていくことは、望ましい勤労観・職業観を育てることにつながる。 ・本実践では、どのような仕事が学級に必要なかを考えることから始まる。そして、自分の仕事の取組を振り返り、その課題を見付け、よりよい仕事をするための改善点を考えることで、課題対応能力を育てていくことができる活動である。



当番の仕事を考えよう

1 学年、教科・領域 小学校第1学年 学級活動

2 本時の目標

(1) 当番の仕事を振り返り、これからもすすんで活動しようとする意欲をもつことができる。

(2) 「課題対応能力」<課題発見>

3 準備

○ 仕事チェックカード

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 家でしている仕事について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おふろ洗い ・はし並べ ・掃除 	<p>○家族一人一人の役割や仕事の大切さについて考えさせる。</p>
<p>2 本時の課題を把握する。</p>	<p>○学級目標（よく働くクラスなど）にかかわらせ、本時がクラスの一層の成長を図るために時間であることを確認させる。</p>
<p>当番の仕事を考えよう</p>	
<p>3 学級の中の当番活動について考える。</p> <p>(1) どんな仕事があるか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動 ・給食当番 ・掃除 ・日直 <p>(2) それらの仕事の役割の大切さについて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食当番がいないと、給食が食べられない。 ・掃除をしないと、教室が汚れる。 	<p>○教室内の掲示物などを活用して学級での生活を振り返らせ、当番活動を想起させる。</p> <p>○どの仕事も学級のために大切な役割があることを確認する。</p>
<p>4 自分の仕事への取り組み方について考える。</p> <p>(1) チェックカードを使って仕事への取組を振り返る。</p> <p>(2) 改善点やこれから頑張りたいことを書く。</p>	<p>◎チェック項目を具体的に設定することで、自分の仕事に対する取り組み方の課題点を把握させる。</p> <p>○よりよい仕事をするためにはどこを改善していったらよいか、具体的に書かせる。</p> <p>☆自分の仕事の取り組み方について客観的に見つめ直し、これからもすすんで活動しようとする意欲をもつことができたか、チェックカードから判断する。</p>
<p>5 教師の話聞く。</p>	<p>○仕事パワーアップ週間を設定し、チェックカードにシールなどを使って記録していくことを伝え、仕事に対する意欲化を図る。</p>

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.13-01

とうばんのしごとを かんがえよう

みんなと
きょうりょくし、
すすんではたらこう。



クラスには
どんなしごとがあるかな。
それはなにをするのかな。
そのしごとが
もしなかったら、
どうなるかな。

わたしのしごとは

.....です。

これから

.....をがんばります。

がんばれたら 😊 をかきましよう。

がんばれなかったら ☹️ をかきましよう。



げつようび

かようび

すいようび

もくようび

きんようび

--	--	--	--	--

😊 はいくつありましたか。

☹ はいくつありましたか。

☹ どうしてあったのですか。



これから、とうばんのしごとでがんばりたいこと、
くふうしたいことをかきましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



せんせいから	おうちのひとから	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
.....	
.....	
.....	



全体構想

No.14

単元名

「レッツゴー！町たんけん」

1 学年、教科・領域	小学校第2学年 生活科
2 わらい	・自分たちの住む町を探検し、地域で生活したり働いたりしている人々や公共物などに関心をもつとともに、町や地域よさを発見し、愛着をもつ。
3 本実践とキャリア教育との関連	・自分が住む町をもっとよく知り、大好きになるために町探検に出かける。事前に話し合いをしっかりと探検には臨むが、途中で予想外の問題にぶつかることもあるだろう。それらの体験を積み重ねていく中で、地域で働く人々や職業への興味・関心をもつとともに、見学のマナーや言葉遣いなどへの気配りもできるようになる。 ・本実践では、探検をしていく中で、自分の思いや考えをはっきりさせたり、相手を意識した話し方を学んだり、コミュニケーション能力を高めることができる。考える。

＜買い物などの体験＞

主な学習活動	時数
・おすすめの場所を紹介しよう	2
・行ってみたい場所を話し合おう	1
・さあ、作戦会議だ！	3
「町たんけんに出かけよう」 (1) 町の様々な事象を発見したり地域の人々と接する喜びを味わったりしながら、グループで協力して町探検をすることができる。 (2) キャリア教育としての目標 「人間関係形成・社会形成能力」 ＜他者に働きかける力＞	4
・町たんけん発表会をしよう	4
・お礼の気持ちを届けよう	1

本実践 1, 2/4

＜道徳＞

4-(1)
公共の場での礼儀やマナーの大切さを知る。

＜国語科＞
友達に分かるように話そう

＜特別活動＞
感謝の気持ちを表そう！

学習発表会
わたしたちの町

町たんけんに出かけよう

1 学年、教科・領域 小学校第2学年 生活科

2 本時の目標

(1) 町の様々な事象を発見したり、地域の人々と接する喜びを味わったりしながら、グループで協力して町探検をすることができる。

(2) 「人間関係形成・社会形成能力」＜他者に働きかける力＞

3 準備

○ 探検バッグ、地図、ワークシート

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 出発式をする。</p> <p>(1) めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> じぶんたちの町をたんけんしよう </div> <p>(2) 町探検の約束事を確認する。</p>	<p>○保護者ボランティアにあいさつをさせる。</p>
<p>2 町探検に出発する。</p> <p>「織物工場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を作るのにどれぐらい時間がかかるのだろう。 「クリーニング店」 ・たくさんの洗濯物をどのようにして洗濯しているのだろう。 「魚屋」 ・季節によって、売っている魚は違う。 「郵便局」 ・手紙や小包は、どのようにして運んでいるのだろう。 	<p>○交通ルールを守り、安全に探検することを確認する。</p> <p>○グループやお店の方の迷惑にならないような行動をとることを確認する。</p>
<p>3 学校に帰り、発見したことをワークシートにまとめる。</p>	<p>○1グループ2か所探検し、1か所につき約30分間の訪問時間とする。</p> <p>○グループ内のトラブルは、できるだけ自分たちで解決するようにし、それでも解決できないときは、保護者ボランティアに相談するように指示する。</p> <p>○各訪問場所を巡回し、気付いたことや分かったことを記録させる。</p> <p>◎1人1回はインタビューすることで、働く人々に興味をもち、意欲的に見学ができるようにさせる。</p>
<p>4 1回目の町探検の反省をする。</p>	<p>○心に残ったことを絵や文で表現させる。</p> <p>☆自分の町に関心をもち、友達と協力して探検することができたか、ワークシートから判断する。</p> <p>○よくできたこと、できなかったことを振り返らせ、次の活動に生かせるようにする。</p>

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.14-01

じぶんのせかいを
ひろげよう。

町たんけんに出かけよう



ききたいこと、
みたいこと、
しりたいことなどを
かいてみよう。

町たんけんできたいことをかきましょう。

.....

.....

.....

.....

町たんけんできいたこと、見つけたことをたくさんかきましょう。

おりものこうじょう

クリーニング店

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

さかなや

ゆうびんきょく

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

びっくりした！
かんとうした！ はじめてだった！
きみの“しんはっけん”を
かいてみよう。





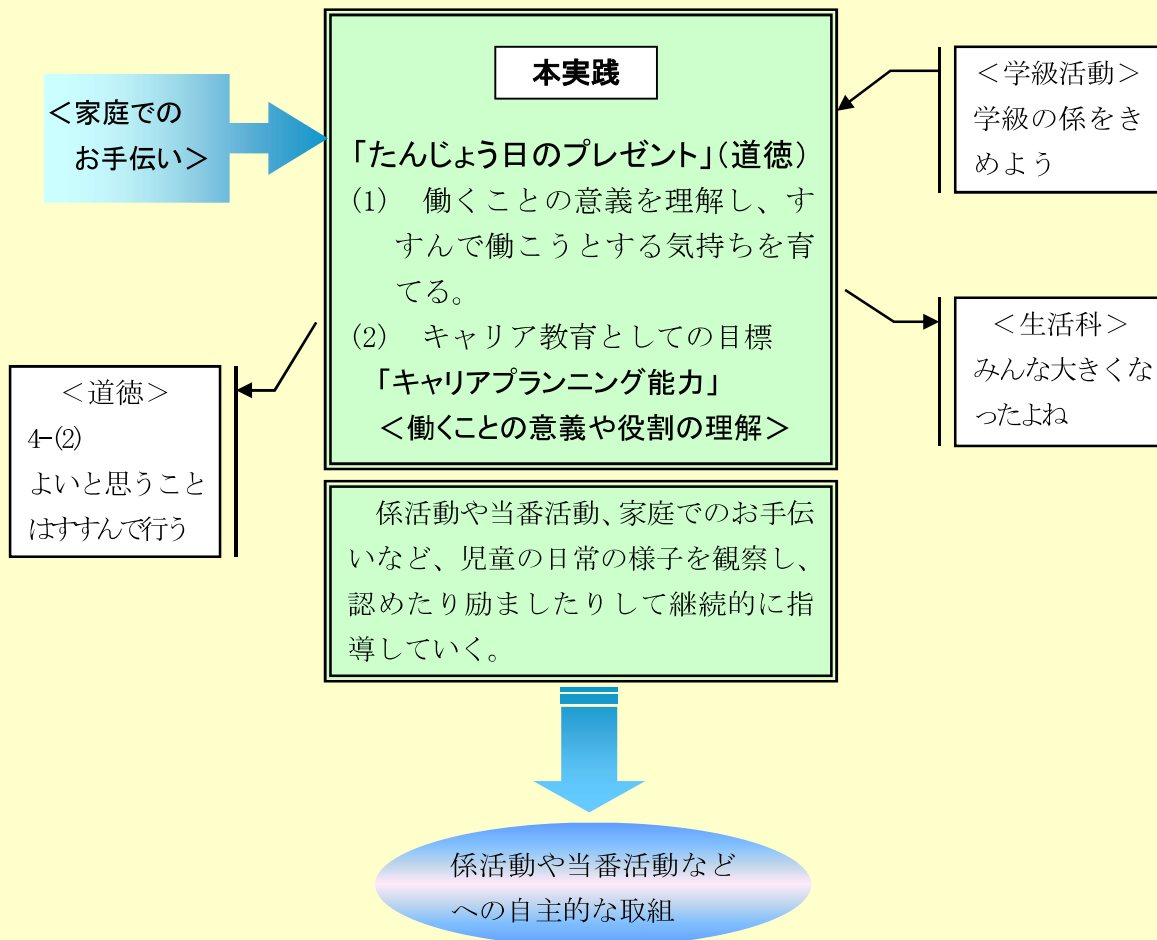
全体構想

No.15

題材名

「たんじょう日のプレゼント」

1 学年、教科・領域	小学校第2学年 道徳
2 わらい	・働くことの意義を理解し、すすんで働こうとする気持ちを育てる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・人として生きていく上で、仕事に誇りと喜びを見だし生きがいをもって取り組むことは大切なことである。働くのは、生活のためだけではなく、自分の責任を果たすという意味があることも自覚させる必要がある。 ・本実践では、仕事を最後までやり通すことで、「やってよかった」というすがすがしさと、相手に喜んでもらった満足感を得られ、働くことの意義や役割を理解するというキャリア教育の視点から、価値ある題材である。



たんじょう日のプレゼント

1 学年、教科・領域 小学校第2学年 道徳【4-(2)】

2 本時の目標

(1) 働くことの意義を理解し、すすんで働こうとする気持ちを育てる。

(2) 「キャリアプランニング能力」＜働くことの意義や役割の理解＞

3 準備

○ 資料「たんじょう日のプレゼント」（出典：あかるいこころ）

4 展開 キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 お父さんやお母さんの誕生日にどんなことをしてあげたいか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肩たたき ・食器の片付け ・そうじ ・お風呂洗い 	<p>○物をあげることだけが誕生日のプレゼントではないことを確認する。</p>
<p>2 資料を読んで、「ぼく」の気持ちを話し合う。</p> <p>(1) どろだらけのくつを見たとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変そうだな。 ・きれいになるかな。 ・きれいになるまで頑張るぞ。 <p>(2) とても疲れて、もうやめたくなるとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうやめたいな。 ・もう少しだから頑張ろう。 <p>(3) お母さんに「おたんじょう日のプレゼント、ありがとう」と言われたとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ってよかった。 ・お母さんに喜んでもらえてうれしい。 	<p>○どろのついたくつを用意し、仕事の大変さを実感させる。</p> <p>○大変そうだという思いと、頑張るぞという2つの思いがあることを押さえる。</p> <p>○やめたいという気持ちと最後まで頑張りたいという両方の気持ちに共感させる。</p> <p>○最後までやり通したすがすがしさと、母親に「ありがとう」と言われたときの喜びに気付かせる。</p>
<p>3 学校や家で頑張って仕事を最後までやりとげたとき、どんな気持ちになったかを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いをしてお母さんから「ありがとう」と言われて、うれしかった。 ・お風呂洗いをして、ぴかぴかになったので気持ちよかった。 	<p>◎頑張って働いたときの役に立てたという喜びや満足感を思い出させる。</p> <p>☆働くことのよさを感じ、これからもみんなのために働こうとする意欲が高まったか、発表内容から判断する。</p>
<p>4 教師の話を聞く。</p>	<p>○仕事をして他の人に喜ばれたり、満足感を味わったりした話をする。</p>

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.15

たんじょう日のプレゼント

すすんではたらこう。



なぜせんちょうをつづけているかって。こうかいをおえたときのまんぞくかんをもういちどあじわいたいと思うからだよ。

どろだらけのくつを見たとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。

.....

.....

ぼくなら「たいへんそうだ。」って思うかな。きみは。



わたしなら、「またがんばろう。」って思うかな。あなたは。

とてもつかれてやめたくなったとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。

.....

.....



お母さんに「おたんじょう日のプレゼント、ありがとう。」と言われたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。

.....

.....

がっこうやいえでがんばってしごとをさいごまでやりとげたとき、どんな気持ちになりましたか。

.....

.....

先生にも、しごとをさいごまでやりとげたときの気持ちを聞いてみましょう。



全体構想

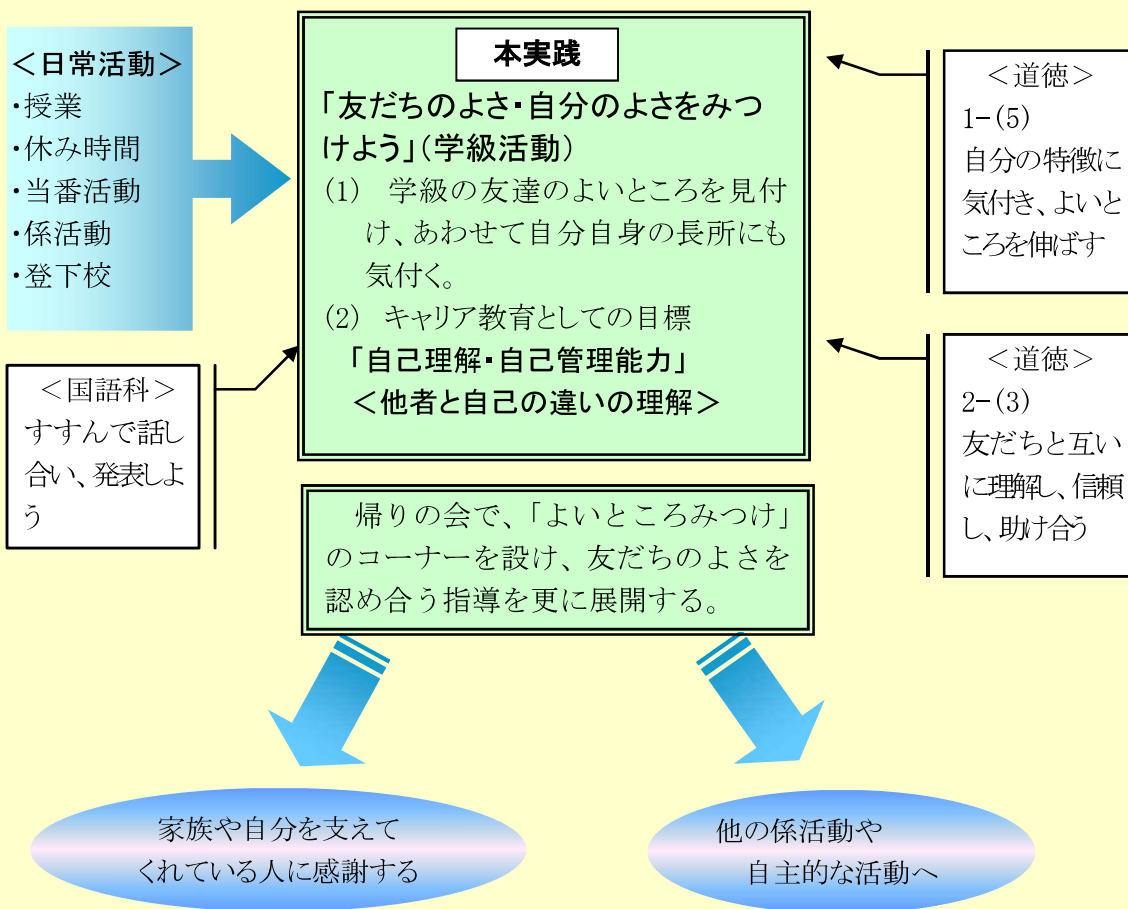
No.16



題材名

「友だちのよさ・自分のよさをみつけよう」

1 学年、教科・領域	小学校第3学年 学級活動
2 ねらい	・友達のよいところを認めるとともに、自分のよいところを見つけ、励まし合えるようにする。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ友達に目を向けさせることで、自分のよさに気付かせ、人にはそれぞれ個性があることを確認させたい。さらに、個性を認め合うことにより、自他の理解が深まっていくことを本実践を通して体得させたい。 ・本題材を設定することにより、自分自身の行動を振り返る機会をつくる。自分を見つめ直したり、将来について考えさせたりする場を与えることで、キャリア教育における自己理解・自己管理能力を伸ばしたいと考える。



友だちのよさ・自分のよさをみつけよう

1 学年、教科・領域 小学校第3学年 学級活動

2 本時の目標

(1) 学級の友達のよいところを見付け、あわせて自分自身の長所にも気付く。

(2) 「自己理解・自己管理能力」＜他者と自己の違いの理解＞

3 準備

○ ワークシート「よいところをみつけよう」

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 よいところとはどういうところか話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている人を助ける。 ・友達と仲良く遊んでいるよ。 	<p>○ふだんの生活を振り返って、何をすることがよいことかを考えさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">友だちのよさ・自分のよさをみつけよう</div>	
<p>2 本時の課題を把握する。</p>	
<p>3 自分の得意なことや頑張っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すすんで手をあげているよ。 ・自分の掃除が終わったときは他の人を手伝っているよ。 	<p>○授業、当番活動、休み時間、登下校、家庭など、具体的な場面を示し、頑張っていることを発表しやすくする。</p> <p>○発表することが他の児童へのアピールになるので、なるべく多くの児童に発表させる。</p>
<p>4 グループをつくって友達のよいところを見付け、伝え合う。</p> <p>(1) 友達のよいところを見付け、ワークシートに書く。</p> <p>(2) 友だちのよいところを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物を持つのを手伝ってくれた。 ・分からないことを教えてくれた。 	<p>○ワークシートに書かせてから発表させることで、友達のよいところをたくさん見付けられるようにする。</p> <p>○グループをつくって書かせることで、よいところがない児童がいないようにする。</p> <p>○友達のよいところを見付ける活動を通して、学級の友達のことを改めて深く見つめ直すよい機会とする。</p>
<p>5 自分のよいところを見付ける。</p> <p>(1) 友達の発表を聞いて自分のよいところをワークシートに書く。</p> <p>(2) 新たに見付けた自分のよいところに関する感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなよいところがあるとは気付かなかった。 ・友達が自分をよく見ていてくれる。 	<p>◎友達の発表から自分自身のよいところに気づき、友達にどのように見られているかを知ることによって学級への所属感や自己有用感を味わわせる。</p> <p>☆友達の発表から自分のよいところを見付けられたかを、ワークシートや発表内容から判断する。</p>

ゆめ み ぼうかい
夢を見つける航海ノート

No.16-01

よいところをみつけよう

今のじぶんの
よさを知ろう。
友だちのよさを
知ろう。



「よいところ」って
なんだろう。
そこから考えてみよう。

ノッキーのよいところは、
やさしいところね。



ハナの
よいところは、
正直な
ところだよ。



友だちのよいところをみつけましょう。

さんのよいところ

さんのよいところ

さんのよいところ

さんのよいところ

さんのよいところ



さんのよいところ



さんのよいところ



さんのよいところ



友だちの発表を聞いて、自分のよいところを書きましょう。

きみが気づいていない、
きみ自身のよいところを
いくつはっけん
できたかな。



先生から

おうちの人から

.....
.....
.....

.....
.....
.....

○
○
○
○
○
○



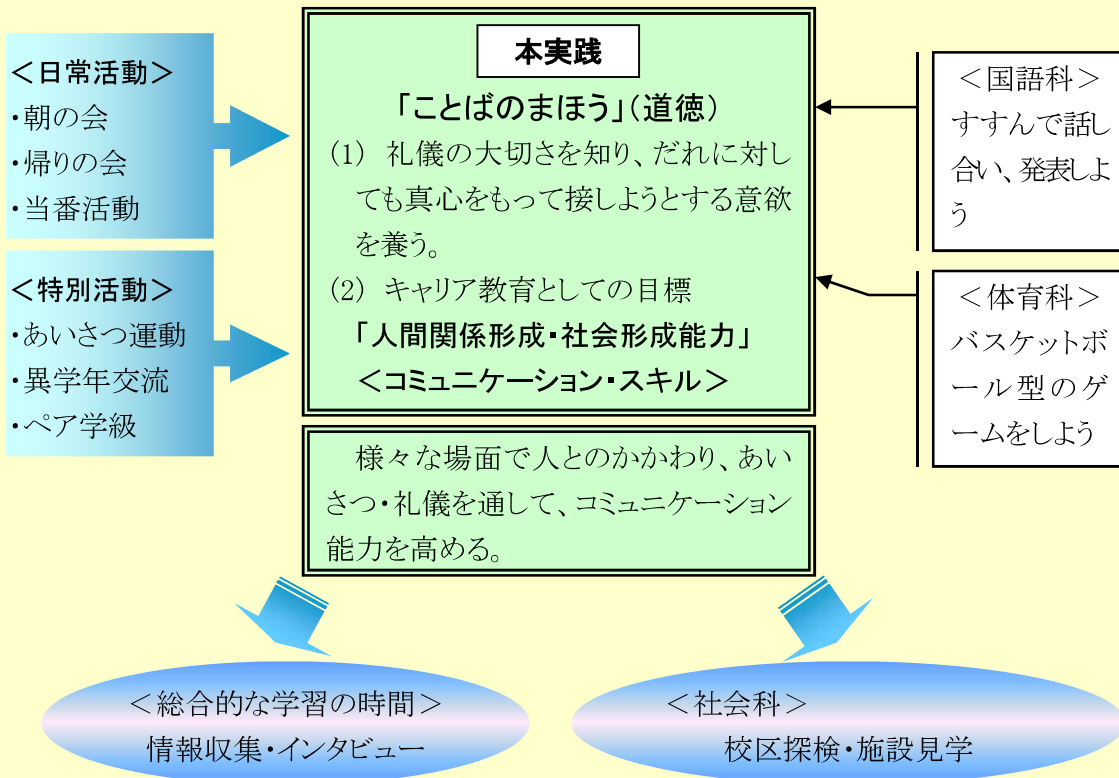
全体構想

No.17

題材名

「ことばのまほう」

1 学年、教科・領域	小学校第3学年 道徳
2 ねらい	・礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする意欲を養う。
3 本実践とキャリア教育との関連	<p>・円滑でよりよい人間関係を築きながら社会生活を営んでいくためには、礼儀正しくふるまうことは非常に大切である。しかし、日常生活の中では、ちょっとした言葉や態度の行き違いから、互いに傷つけて気まずい関係になってしまうことも起こりがちである。毎日の生活の中で、相手を思いやる気持ちを大切にし、だれに対しても優しい言葉遣いやふるまいができるようにしたい。</p> <p>・本実践は、「礼儀」という題材を通して、社会とのかかわりの中で生活し、仕事をしていく上で基盤となる能力の一つ、コミュニケーションスキルを高めていく活動である。特に価値の多様化が進む現代社会においては、様々な他者を認めつつ、それらと協働していく力は、キャリア教育の視点からも身に付けさせていきたい重要な力である。</p>



ことばのまほう

1 学年、教科・領域 小学校第3学年 道徳【2-(1)】

2 本時の目標

(1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接しようとする意欲を養う。

(2) **「人間関係形成・社会形成能力」<コミュニケーションスキル>**

3 準備

○ 資料「ことばのまほう」(出典：あかるいこころ)

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 けんかをしたときの自分の言葉遣いや態度について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔が真っ赤になる。 ・大声でいやなことを言う。 ・物や相手を蹴ったり、叩いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○けんかをしたときの体験を想起させ、本資料のゲーム店での「ぼく」に共感させるきっかけとする。 ○座席をコの字型にし、話しやすい雰囲気作りをする。
<p>2 本資料を読んで話し合う。</p> <p>(1) ドアのところでぶつかったとき、「ぼく」はどんな気持ちでなったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・痛い。 ・どこ見てるんだよ。 <p>(2) スーパーマーケットで謝られた「ぼく」はどんな気持ちになったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくも悪い。 ・拾ってくれてありがとう。 <p>(3) 笑顔を見てはっとした「ぼく」はどんなことに気付いたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先にどなると相手もどなるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思わずどなってしまった「ぼく」の気持ちに共感させる。 ○役割演技を行い、2人組で「ぼく」と「その子」の役を交代で行い、お互いの気持ちを感じ取らせる。 ○言葉遣い一つで相手の態度が変わることに気付かせる。 ○相手の笑顔で気持ちがなごみ、自分もいけないところがあったという気持ちになれることを考えさせる。
<p>3 自分たちの生活を振り返って、礼儀正しくして気持ちよかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも「ありがとう」「ごめんなさい」を言える人は、見ていて気持ちがいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今後の生活で、よりよい人間関係を築くために礼儀正しく真心をこめて人と接していこうとする意欲をもたせる。 ☆他者の気持ちに配慮した礼儀正しいコミュニケーションのとり方を考えることができたか、発表内容から判断する。
<p>4 礼儀に関する教師の体験談を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○礼儀正しく生活することの大切さについて子ども心に響く話をする。

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.17

ことばのまほう

礼ぎ正しく
まわりの人と
せっしょう。



みんなとなかよくするために
ぼくがわすれていたもの、
それがなにかを考えてみよう。



「ちゃんと前を見てよ。」
って思っちゃうな。
きみはどう。

ドアのところでぶつかったとき、「ぼく」はどんな気持ちでどなったのでしょうか。

スーパーマーケットであやまれた「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。

あのとき、さいしょから
あやまっていたら、
どうなっていたかしらね。



え顔を見てはっとした「ぼく」はどんなことに気づいたのでしょ。

自分たちの生活をふり返って、礼ぎ正しくして気持ちよかったことを思い出してみましょ。



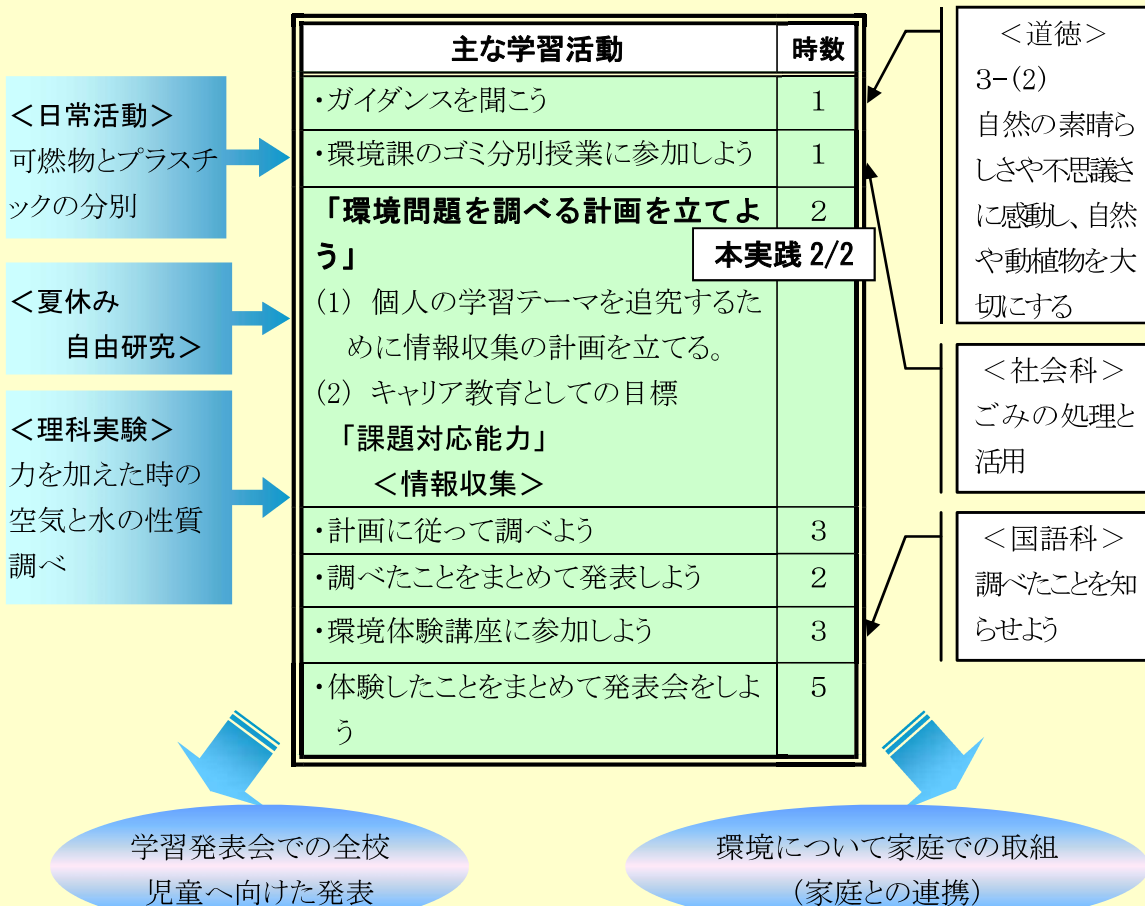
全体構想

No.18

単元名

「環境問題について考えよう」

1 学年、教科・領域	小学校第4学年 総合的な学習の時間
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境問題に目を向け、課題を解決していこうとすることで、課題解決力を身に付け、自分たちが住む地域への愛着をもち、地域の一員として環境を守る活動を進んで行おうとする態度を身に付ける。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然」について知っている児童は多いが、「環境」について知っている児童はわずかである。今、この4年生の段階で、身近な環境問題に触れさせ、考えさせていくことは、大切なことである。 ・本単元は、社会科、国語科、理科などと総合的、横断的な取組を展開し、子どもなりの課題を見付け、体験活動や調べ学習などを通して、キャリア教育の課題対応能力の育成を図っていく取組である。



「環境問題」を調べる計画を立てよう

1 学年、教科・領域 小学校第4学年 総合的な学習の時間

2 本時の目標

(1) 環境問題についての個人の学習テーマを追究するために情報収集の計画を立てる。

(2) 「課題対応能力」<情報収集>

3 準備

○ ワークシート「環境問題についての調査計画書」

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 環境問題についての自分の学習テーマを確認する。	○これから調べていく課題が、自分にとって気掛かりな点であったり、明らかにしたい疑問から生まれたものであったりすることを意識付ける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 「環境問題」について調べる計画を立てよう </div>	
2 本時の課題を把握する。	
3 調べる方法について話し合う。 ・本や新聞を読んで調べるよ。 ・DVDやビデオで調べてみようかな。 ・パソコンのインターネットで調べよう。 ・施設を訪ねて働いている人たちにインタビューしたいな。	○今までの教科学習や総合的な学習の時間を想起させ、情報収集にはどのような方法があるのか考えさせる。 ○それぞれの方法の長所・短所があることを押さえておく。 ○施設見学やインタビューは、同じ場所へ出掛ける他のクラスの児童とも一緒に行くため、調整が必要であることを伝える。
4 調べる計画を立てる。	◎どんな情報収集の手段が自分の課題追究にふさわしいか考えさせる。 ☆自分の課題追究に合った方法で情報収集をする計画を立てることができたか、計画書の内容から判断する。
5 教師の話を聞く。	○次回から、計画に従って実際に情報収集することを伝え、家庭でも資料収集など必要に応じて準備するよう指示する。

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.18-01

かん きょう

環境問題についての 調査計画書

調べて、考えて、
よりよい計画を
立てよう。



コノハが言うように、
身のまわりに
環境問題を考えるきっかけは
いっぱいあるんだ。



今きみが書いているこの紙は、
木からできているんだ。
大切な資源をムダにしないようにね。

かん きょう

環境問題についての自分の学習テーマ

調べる方法をできるだけ多く書き出してみましよう。

自分の学習テーマにふさわしい調べ方はどんな方法ですか。

実際にお話を
聞きに行きたいな。



自分の学習テーマについてふさわしい調べ方を選び、計画を立てましょう。

何を、どんな方法で、
いつまでに調べるか。
それらを考えてみよう。





全体構想

No.19

単元名

「なくそう、こわい火事」

1 学年、教科・領域	小学校第4学年 社会科
2 ねらい	・火災から地域の人々の安全を守る取組について意欲的に調べ、地域の一員として火災防止を心掛けようとする。
3 本実践とキャリア教育との関連	・本単元では、地域社会における災害から人々の安全を守る工夫について考えることが重要である。そのためには地域の消防署の見学・調査、関係機関で働く人々へのインタビュー、地域の消防設備や消火設備などの位置や分布など、具体的に調べ表現することが大切である。消防署で働く人々の工夫や努力、仕事に対する思いなどをキャリア教育の視点からとらえ、生き方のモデルとなるような人との出会いを通して、いかに生きていくかを意識させるようにしたい。

<校内防火施設の調査活動>

主な学習活動	時数
・学校での火事について話し合おう。	1
・学校の防火施設や消火や避難の方法を調べよう。	3
「消防署の仕事調べよう」 (1) 火災から地域の人々の安全を守るための消防署の働きと、そこに従事している人々の工夫や努力について理解する。 (2) キャリア教育としての目標 「キャリアプランニング能力」 <働くことの意義や役割の理解>	3
・学校で火事が起きた場合を想定した戦略図を作成しよう。	3

本実践

<社会科>
見直そう わたしたちの暮らし

<道徳>
4-(2)
働くことの大切さを知り、みんなのために働く

<特別活動>
感謝の気持ちを表そう

<社会科>
地図に親しむ

<総合的な学習の時間>
1/2成人式を成功させよう!

消防署の仕事を調べよう

1 学年、教科・領域 小学校第4学年 社会科

2 本時の目標

- (1) 火災から地域の人々の安全を守るための消防署の働きと、そこに従事している人々の工夫や努力について理解することができる。
- (2) **「キャリアプランニング能力」＜働くことの意義や役割の理解＞**

3 準備

- 聞き取り調査用紙

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 消防署はどのような仕事をしているのか調べてみよう </div>	<p>○教科書の挿絵や近隣の消防署の写真を見せて期待感を高める。</p>
<p>2 消防署へ見学に行き、火事への対処や消防士の仕事などについて調べる。</p> <p>(1) 消防署を見学し、施設などを観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素早い消火活動を行うためにいろいろ工夫しているんだ。 ・通報を受けてから出動までの活動の順序が分かったよ。 <p>(2) 消防署で働く人々の願いや防火・消火活動の工夫や努力について聞き取り調査を行い、感想をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署で働く人々の願いは何だろう。 ・火事を防ぐ活動も大切な仕事なんだね。 ・火事的时候は隣の町の消防署とも協力しているんだ。 	<p>○見学する態度や調査活動に意欲的に取り組むことを再確認する。</p> <p>○目的をもって観察をさせ、消防施設の工夫や設備の素晴らしさを実感させる。</p> <p>◎消防士にインタビューする際に、なぜこの仕事に就いたのかを質問し、やりがいなどにも触れるようにする。生き方のモデルとなるような話を聞くことで、いかに生きていくかを意識させる。</p> <p>☆施設の観察や聞き取り調査により、素早い出動を目指した施設の工夫や関連機関への連絡、及び消防署の人の願いや仕事に対するやりがいなどについて理解できたか、発表内容から判断する。</p>
<p>3 見学して調べたことを基に、消防署の仕事についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を守る仕事ってすごく大切なんだね。 ・消防署で働く人たちのように地域に役立つ仕事に自分も就きたいな。 	<p>○消防署の部屋をお借りして、調査用紙に書き込ませる。</p> <p>○机間指導をして、まとめ方が上手だったり、働くことに対する前向きな記述があったりしたら、温かく評価する。</p>

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.19-01

消防署の仕事^{しよ}を調べよう

調べて、考えて、
よりよい答えを
見つけよう。



火を消すこと以外にも、
いろいろな仕事を
しているんだよ。

事前学習

消防署^{しよ}はどんな仕事をしていると思いますか。よそうして、できるだけたくさん書きましょう。

.....

.....

.....

消防署^{しよ}で働く人たちに質問したいことを書きましょう。

質問1

答

質問2

答

質問3

答

質問4

答

質問5

答

どうして
消防士になったのか、
聞いてみたいわ。



どうして
あんなに早く
出勤できるか知りたい。

